

令和8年8月28日
宮崎空港ビル株式会社

白煙がターミナルビル内で充満した事象の推定原因について

昨日発生しました宮崎空港2階搭乗口において白煙が充満した事象につきまして、ご利用のお客様はじめ多くの皆様へご心配ならびにご不便をおかけしましたこと深くお詫び申し上げます。空港ビルは通常どおり営業しており、保安検査場を含む館内施設も通常運用しております。

現時点で考えられる発生原因ならびに再発防止策についてご報告させていただきます。

発生原因（推定）

空調機器内のファンとモーターをつなぐシャフトと摩擦抵抗を小さくして滑らかに回転させるベアリングの摩擦により発熱し、発煙した可能性が高い。



再発防止策

当該空調機器のシャフトとベアリングの摩擦や焼き付けを防止するためのグリスを補充しました。あわせて他の空調機器（全 18 機）の緊急点検およびグリス補充を実施しています。また、通常点検の頻度を2週間ごとから当面の間は毎日実施することとしました。

原因の究明

空調機器製造者等と協力して発生原因の究明を進めていきます。

今回の事象につきましては、空港をご利用になる全ての皆様にご迷惑をおかけいたしました。重ねてお詫び申し上げます。このような事象を再発させないためにも施設管理の日々の点検や保守管理を徹底し、宮崎の空の玄関口として安全で安心できるターミナル運営に努めてまいります。